

産業再生機構の株式譲渡先の決定について

スカイネットアジア航空株式会社(本社:宮崎県宮崎市、代表取締役社長:藤原民雄、以下 SNA)は、平成16年の6月に株式会社産業再生機構(以下 機構)から支援をいただき、昨年4月には全日本空輸株式会社(以下 全日空)と業務・資本提携を行い、以来今日まで経営再建に取り組んできております。

今回、機構は保有するSNA株式を宮交エアグランドサービス(以下 宮交 AGS)に譲渡するとの決定を下したことを受け、本日、弊社取締役会にて譲渡承認を致しました。宮交 AGS は、宮崎を代表する企業である、宮交ホールディングス株式会社(以下、宮交 HD)などが出資を予定している会社です。特に宮交 HD は空港など公共サービス部門、旅行代理店などの観光部門、ホテル部門をもち、SNAとのシナジー効果が大きいと考えます。

これからもSNAは宮交 AGSと共に地元の翼・低運賃の航空会社の基本理念を堅持しつつ、安定した定時運航を更に強化し、九州の皆様に応援いただける航空会社として邁進してまいります。

スカイネットアジア航空を応援していただいている皆様方におかれましては、今まで同様引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上